

2024年卒の採用予定数は「増やす」が「減らす」の5.7倍に。4割超の企業が「2023年卒よりも、選考開始時期を早める」計画/人事担当者アンケート

株式会社学情（本社：東京都千代田区）は、企業・団体の人事担当者を対象に、インターネットアンケートを実施。今回は、「2024年卒の採用予定」に関して調査しました。2024年卒の採用予定数について、「増やす」と回答した企業が20.7%。「減らす」と回答した企業の5.7倍となりました。また、選考開始時期について、「早める予定」と回答した企業が41.5%に上りました。選考を開始する時期は「2023年2月頃」が21.8%で最多。次いで「2023年1月頃」20.6%が続きました。広報解禁となる3月を待たずに、選考を開始する予定の企業が62.4%に達しています。

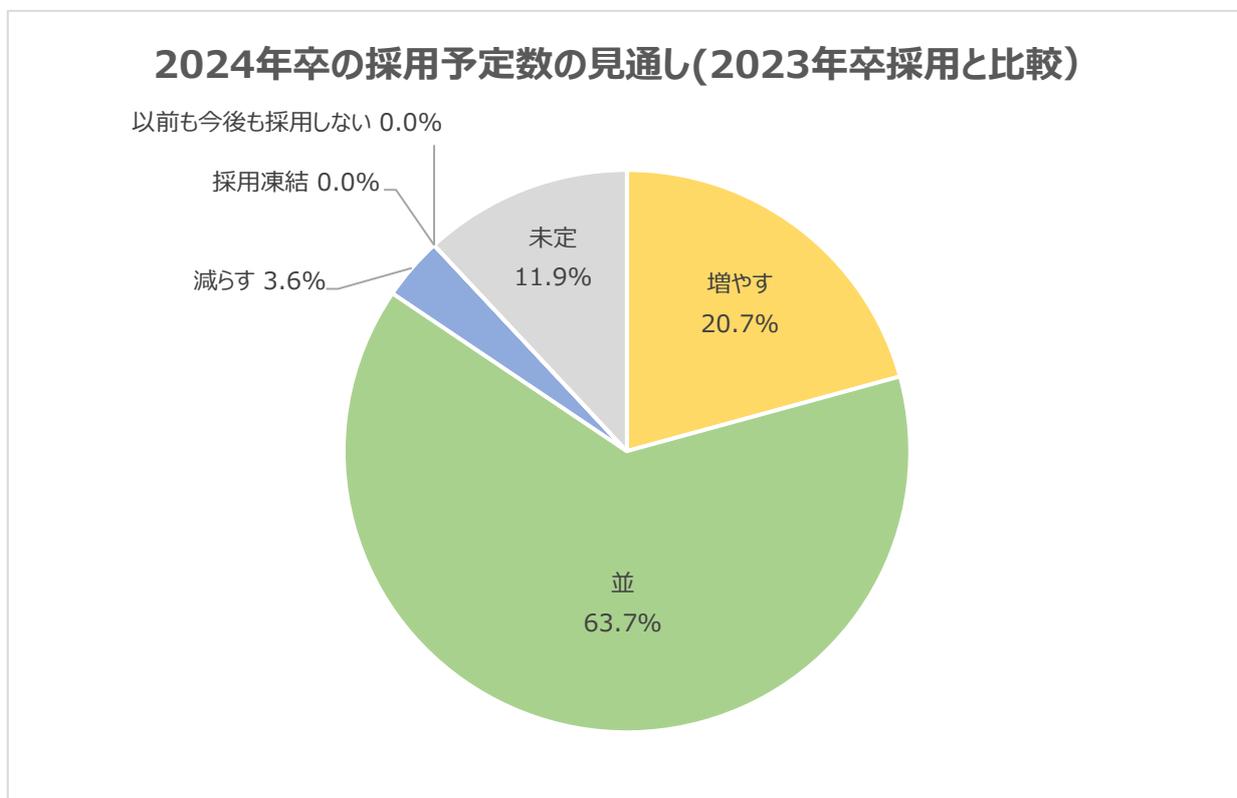
【TOPICS】

- (1) 2024年卒の採用予定数は「増やす」が「減らす」の5.7倍に
- (2) 2024年卒の選考開始時期は「早める予定」の回答が4割を超える。6割以上が広報解禁前に選考開始を予定

【調査の背景】

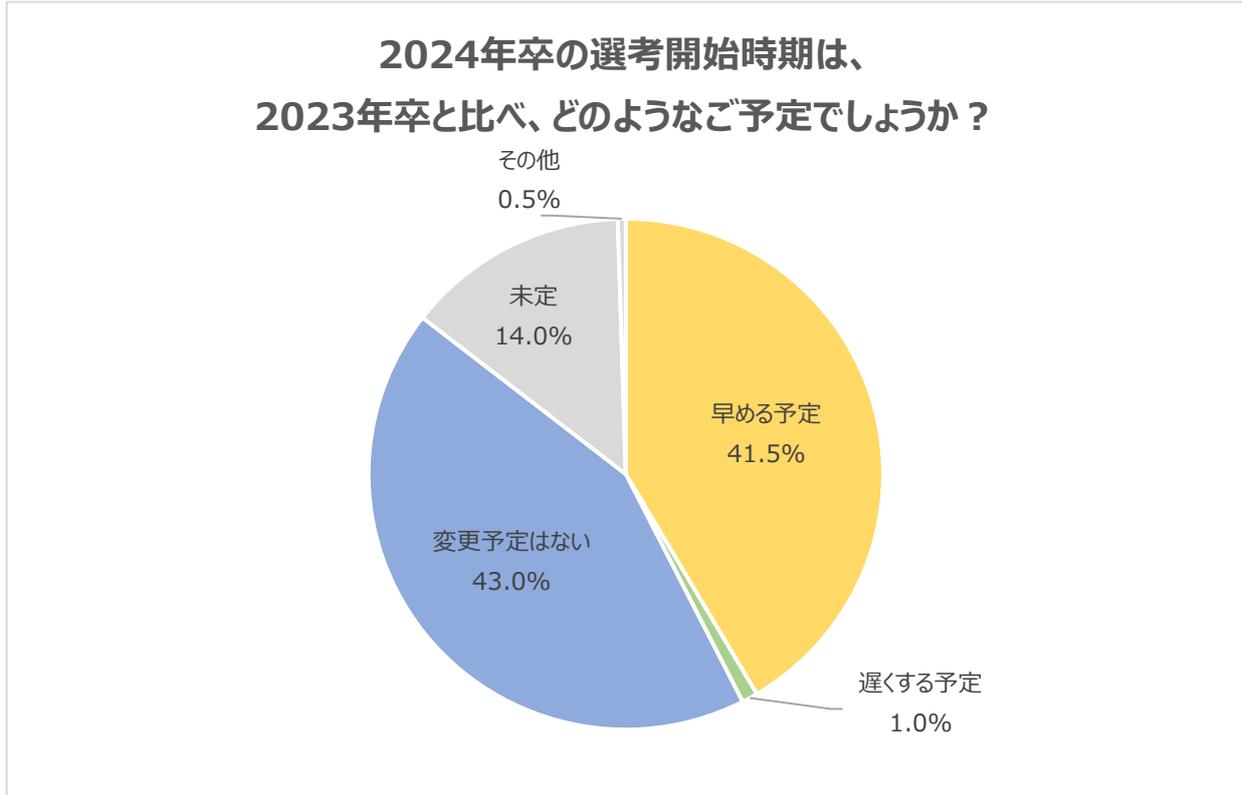
コロナ禍で採用を中止・縮小していた企業も採用を再開するなど、企業が採用を増やす動きが加速しています。これから採用活動が本格化していく、2024年卒の採用予定について調査しました。

(1) 2024年卒の採用予定数は「増やす」が「減らす」の5.7倍に

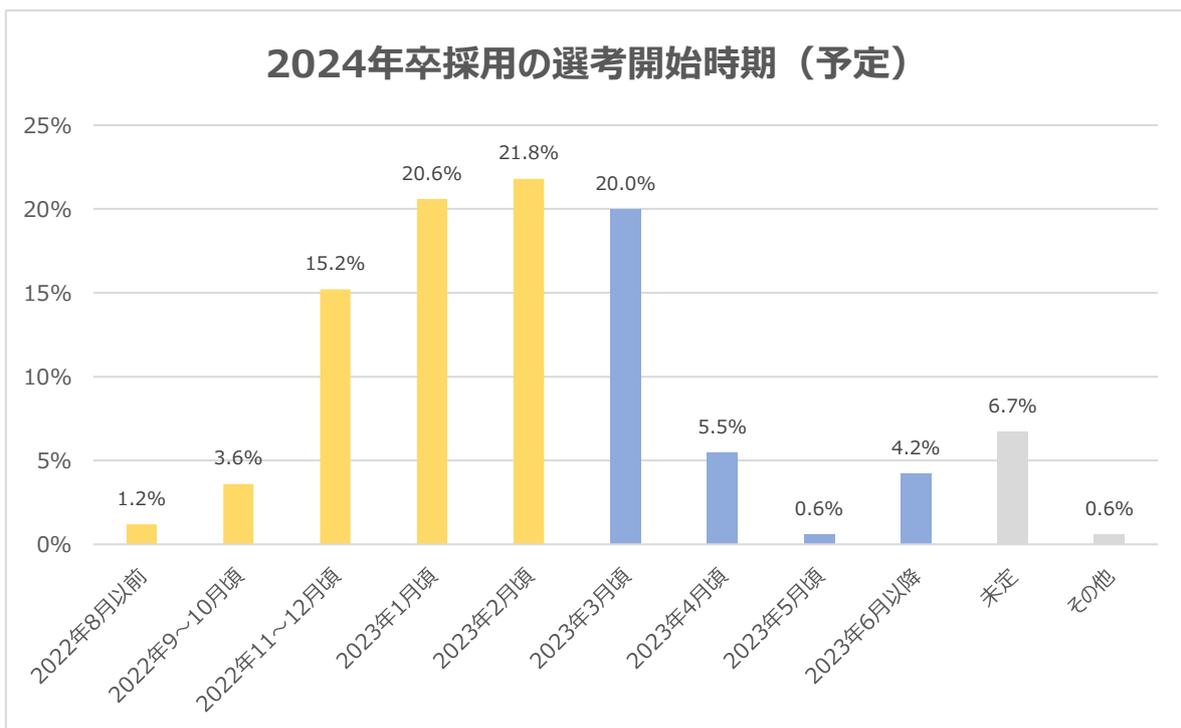


2024年卒の採用予定数について、「増やす」と回答した企業が20.7%で、「減らす」と回答した企業の5.7倍となりました。最も回答を集めたのは、「並（2023年卒採用並）」63.7%でした。

(2) 2024年卒の選考開始時期は「早める予定」の回答が4割を超える。6割以上が広報解禁前に選考開始を予定



2024年卒の選考開始時期について、「早める予定」と回答した企業が41.5%に上りました。4割以上の企業が、2023年卒採用より「早める」としており、「早期化」の傾向はより強くなると想定されます。選考を開始する時期は「2023年2月頃」が21.8%で最多。次いで「2023年1月頃」20.6%が続きました。広報解禁となる3月を待たずに、選考を開始する予定の企業が62.4%に達しています。



■調査概要

- ・調査期間：2022年9月7日～9月8日
- ・調査機関：株式会社学情
- ・調査対象：企業・団体の人事担当者
- ・有効回答数：211件
- ・調査方法：Web上でのアンケート調査

※各項目の数値は小数点第二位を四捨五入し小数点第一位までを表記しているため、択一式回答の合計が100.0%にならない場合があります。

■株式会社学情とは

東証プライム上場・経団連加盟企業。法人株主として朝日新聞社・大手金融機関が資本出資。19年前から、「20代通年採用」を提唱。会員数40万名の「オリコン顧客満足度(R)調査 学生満足度 No.1・スカウト型就職サイト〈あさがくナビ(朝日学情ナビ)〉」(※2022年 オリコン顧客満足度(R)調査 逆求人型就活サービス 就活支援コンテンツ 第1位)や、会員数180万名の「20代向け転職サイト3年連続 No.1・20代専門転職サイト〈Re就活〉」(2019年/2020年/2021年 東京商工リサーチ調査 20代向け転職サイト No.1)を軸に、業界で唯一20代の採用をトータルにサポートする大手就職・転職情報会社です。2021年11月に創業45周年を迎えました。

また日本で初めて「合同企業セミナー」を開催し(自社調べ)、合同企業セミナーのトップランナーとして、年間延べ来場学生20万名以上の日本最大級の「合同企業セミナー〈就職博〉」や、20代動員数No.1の「20代・30代対象の合同企業セミナー〈転職博〉」(2020年 自社調べ 転職イベントにおける20代動員数)を運営。2019年には外国人材の就職・採用支援サービス「Japan Jobs」を立ち上げるなど、若手人材の採用に関する多様なサービスを展開しています。

[創業/1976年 資本金/15億円 加盟団体/一般社団法人 日本経済団体連合会、公益社団法人 全国求人情報協会] <https://company.gakujo.ne.jp>